

<p>自由機種 (ハンドランチ ・ゴムカタパルト)</p>	<p>翼長が、投影で 165mm以上であること。 機体の材質は、翼・胴体 共に紙製であること。 ただし、機首に取り付ける重りとして紙以外の素材(金属等)の使用は認める。 この場合、紙以外の部分が露出しないように紙などで覆うこと。 機首 及び 翼 の前縁を尖らせてはならない。</p>	<p>ゴムカタパルトは規定ゴムを用いて発進 (ゴムは 長さ 50cm以下を 1本以内) 飛行7回の内、上位 5回の合計で集計</p>
<p>規定機種 (神風号)</p>	<p>「神風号01～06」ケント紙を使用して製作する。 MPPCホームページからダウンロードした図面を印刷して製作しても可。 組立説明書どおりに製作することを基本とするが、改造は認める。</p> <p>改造規定 1. 外形寸法は変更してはならない 2. カラーリングは変更してはならない 3. 使用する紙の色は、白 又は 淡いクリーム色の紙を使用する事 4. 識別のための着色は認めるが、各パーツごとの表面積の1/3を越えてはならない 5. 胴体中心部品の木製への変更は可とする</p> <p>飛行中に「脚」が脱落した場合は記録を0秒とする。 但し、着地時の脱落は記録を有効とする。 「神風号」図面は 初版、改訂版 のどちらを使用しても良い。</p>	<p>規定ゴムカタパルトを用いて発進 (ゴムは 長さ 50cm以下を 2本以内) 飛行7回の内、上位 5回の合計で集計</p>
<p>規定機種 C - S 年齢制限 15才以上 出場資格制限あり</p>	<p>紙飛行機教室で作成した機体を使用する。 機体への塗装 及び バリ取り程度のサンディングは認める。</p>	<p>規定ゴムカタパルトを用いて発進 (ゴムは 長さ 50cm以下を1本) 計測 5回の合計で集計</p>
<p>規定機種 C - J 年齢制限 14才以下 出場資格制限あり</p>	<p>紙飛行機教室で作成した機体を使用する。 機体への塗装 及び バリ取り程度のサンディングは認める。</p>	<p>規定ゴムカタパルトを用いて発進 (ゴムは 長さ 50cm以下を1本) 計測 5回の合計で集計</p>
<p>機首プロテクタ</p>	<p>使用する機体は全て 機首プロテクタ(ゴムスポンジ)の装着を義務づける ゴムスポンジは 機首前端より 翼幅の 1.3%以上の厚さを有する事。 ゴムスポンジは衝撃吸収効果のある取り付け方がされていること。</p>	
<p>接着剤</p>	<p>本大会で使用できる接着剤は、セメダインC、、水溶性のボンド、 または、スティック糊とします。 (シアノアクリレート(瞬間接着剤)、および、エポキシ系などの反応型の接着剤は 機体の製作に使用は不可) 接着剤は機体構成部品の接着以外の目的で使用してはならない。 接着剤の使用により機首部分及び翼前縁を異常に強固にしない事</p>	<p>神風号の脚が脱落した場合の修理のみ 瞬間接着剤が使用出来る</p>
<p>機体塗装</p>	<p>神風号は、白、または、淡いクリーム色の紙に印刷した物で有る事。 機体に塗装する場合は、セルロース、アルキド及びアクリル系のラッカーのみが 使用できる。(着色する場合は元の紙が判別出来るようにすること) 機体には持ち主が明確となるような記入がされていること。 塗料の使用により機首部分及び翼前縁を異常に強固にしない事 機体に塗装する場合は、紙製 であることを損なわない程度にすること。</p>	<p>サインペン等 筆記具を用いた部 分的な着色及び文字の記入は可</p>
<p>規定ゴム</p>	<p>太さ1/16インチ以下の角ゴムで長さ50cm以下とする、ゴムの種類は問わない。 カタパルトの支持棒は長さ15cm以下の木製とし、ゴムを直接結び付ける事。 支持棒へはゴム以外のものを付加してはならない。 また、支持棒の弾力を使用してはならない。</p>	
<p>裁定</p>	<p>状況により 機体検査を行う場合がある。 また、機体規格に合致しているかどうかの最終的な判断は実行委員長が行う。</p>	

発進方法	自由機種部門は、ハンドランチとゴムカタパルトに部門を別ける。 神風号と規定機種Cは、ゴムカタパルトで発進する。	
フライト	予め決められた参加者グループ内の順番でフライトを実行する。 フライトは呼び出し方式で行う。 参加者は 最大7回までのフライトを行う。 計時員のフライトの指示があったら 直ちに発進しなければならない。 計時員のフライトの指示に対してフライトを実行しなかった場合は、計時員が警告を行い それでもフライトが実行されなかった場合は その回の記録を 0秒とする。 機体の回収、破損等でフライトを実行できない理由がある場合は、その旨を計時員に申告すれば フライト実行が猶予される場合がある。 但し、連続する2巡ぶんのフライトができなかった場合は1巡目の記録を0秒とする。	
計測	フライトは7回とし、その内の上位 5回のタイムの合計で集計する。 計測は、機体を支える手から機体が離れた瞬間から 機体が静止状態になった時、又は地面に接地した時までとする。 各回のタイムは 1/10秒単位までを有効とし、1/10秒未満を切り捨てとする。 計時したタイムが 60秒以上の場合は その記録を 60秒とする。 機体が木や建物などに当たった場合はその瞬間までを記録する。 機体が木や建物などの陰に隠れた場合や 飛行位置が遠くて計時員が飛行の確認ができない場合は、その時点をラップとして保持する。 その後機体の飛行が確認された場合は計時を継続する。 また、飛行が確認されなかった場合はラップとして保持した時間を記録として採用する。 飛行が確認されなくなった時点での高度が十分に高く かつ確認されなくなった時点での時間が 60秒に近い場合は、計時員の判断で記録を 60秒とする場合がある。	
集計	7回のフライトの内、上位の5回の合計タイムを記録として成績を決定する。 合計タイムの同じ者が複数名あった場合は、フライオフを行う。 フライオフでは、該当する参加者が 計時員の合図で一斉にフライトを行う。 尚、フライオフでは 60秒を超えてもそのまま計測する。	
競技の成立	天候等、状況に応じて 競技開始時刻の変更、中断 を行う事がある。 この場合、棄権者を除く参加者が 3フライト以上を消化していた場合、 競技成立 とします。	
参加資格	参加者相互計測で行う予定ですのでストップウォッチの持参を義務とします。 上記、機体規格、競技方法を遵守いただける方のみ参加できます。	
重複参加	自由機種と規定機種(神風号)は、重複参加が出来ます。	
出場制限	規定機種 C-S, C-J への参加資格は、紙飛行機教室参加者を原則とします。 ただし、実行委員会の判断により、紙飛行機教室参加者以外の出場も認める場合があります。	
公式通知、	天候等、当日の状況に応じて上記規則の一部を変更する場合がある。 この場合は 受付場所にて「公式通知」として掲示する他、口頭で通知する。 「公式通知」の確認は参加者の義務とする。	
抗議 他	参加者は、自分が不当に処遇されていると思われる場合は抗議を行うことが出来る。 この場合、結果発表後15分以内に申し出ること。 予め主催者が選出した複数名からなる審査委員会の裁定を行う。 尚、競技規則及び運営方法についての抗議は受け付けません。	

「神風号」印刷済みケント紙が、長野県豊科町 飯沼飛行士記念館(0263-73-3456)で入手出来ます。